

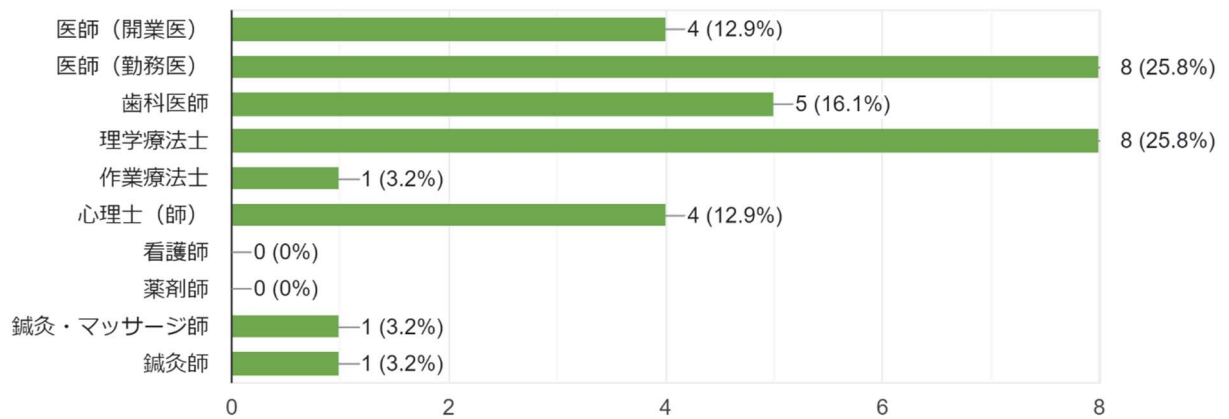
慢性疼痛診療システム均てん化等事業近畿地区・九州地区 西日本慢性疼痛クリニカルセミナー アンケート集計結果

2024年1月20日(土) 15:00~18:00 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 82名 (オンライン 66名 現地参加 3名 登壇者 13名)

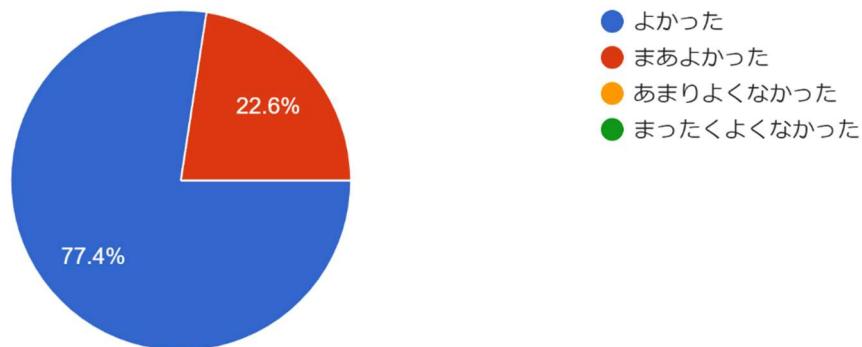
1. あなたの職種を教えてください。

31件の回答



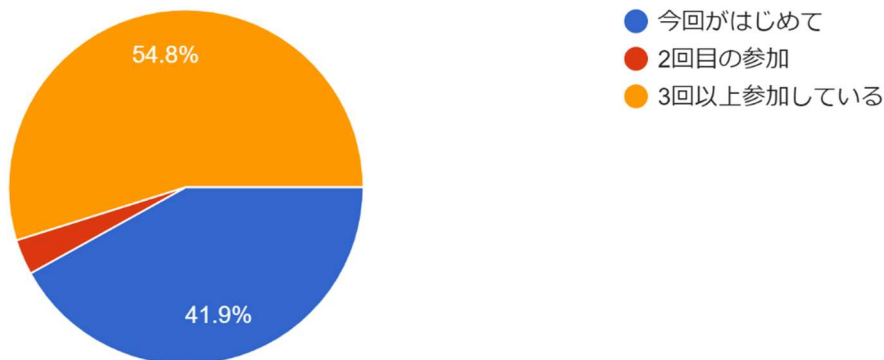
2. 本セミナーの感想をお聞かせください。

31件の回答



3. 本事業のセミナーに参加された回数を教えてください。

31件の回答



4. 本セミナーについてご意見・ご感想をご記入ください。

- ・多職種の先生方のご意見が聞けてよかったです。
- ・所属が変われば様々な考え方や知見を聞けるため、非常に良い勉強の機会になりました。勉強になりました。
- ・ケースを通して学ぶことで理論的にはいかない実臨床の難しさを実感することができました。
- ・慢性疼痛患者をどう診るかという視点で、自分が今まで持っていなかった考え方を学ぶことができました。
- ・大変興味深かったです。パネルディスカッションではプロフェッショナルな先生方の考え方が聴講出来て勉強になりました。
- ・初診の対応は毎度悩むのですが、先生方が工夫して先生方の特色を生かした見方をされていると感じました。とても勉強になりました。
- ・慢性痛の診療に関して様々な領域の先生方から幅広いお話を聞くことができ非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・慢性疼痛の現状に関する研究もふまえたご講演や多科、多職種それぞれの見方で症例を紐解いていくこの企画はとても学びになります。知識だけでなく、臨床や研究の姿勢がよく伝わってきました。そのうえで、それぞれの見方だけでなく、それをどう集学的に連携・協働するかというもう一步踏みこんだディスカッションができればよかったのではないかと思います。
- ・非常に 臨時医 として 勉強になります
- ・症例検討の各先生方のコメントで、いろいろなアプローチを用いて患者様との信頼関係構築の重要性を強調されているのが印象的でした。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・診療のポイント、患者さんとの人間関係の構築等改めて新鮮な気持ちになりました。
- ・いろいろな立場からの意見を聞くことができたいへん参考になりました。初診は友達になることを

目標にするというのが最も印象的で腑に落ちました。

- ・わからないことをわからないままにしておけることは医師の職業的体質から受け入れがたいことですが、慢性痛の診療においてはそれが必要で、患者を理解しようという態度が伝われば、それでうまく進んでいくということを実感していますが、未だに自分の中で葛藤が起こることがあります。今日、先生方のお話を伺い、いつもの自分の診療の在り方について、背中を押していただいたような感じがして良かったです。
- ・短い時間の中で、多職種の先生方のご意見や手法、患者さんへの向き合い方等を伺えて、大変、有意義でした。会場の先生が仰っておられたように、原因を探索することよりも、その方のこれからの人生にどう関わっていくのか～初診の時点から～根源的な問題を突きつけられた思いです。
- ・自分の得意な方向に知らず知らずの内に持っていかなぬよう、私自身、学びをもっと深めていかなばと改めて感じました。日々に追われながらも、貴重な機会を与えて頂き有難うございました。尚、仕事の為、前半の安野先生の講義に間に合いませんでした。この部分を別途拝聴させて頂けませんか？宜しく願いいたします。”
- ・いつも勉強になります。
- ・安野先生のご講演は勉強になりました。症例検討も多くの先生の見解をじっくりと伺えて、有意義でした。
- ・今回の症例は歯科治療を契機とされておられましたが、他科診療科の症状もあったがゆえに当初から医科医療機関でこのような丁寧な対応がされたものと理解しましたが、口腔領域のみの症状であった場合、今回のような深掘りした対応が可能であったのか、極めて心配になりました。口腔領域のみの症状であっても慢性疼痛と思われる症例は速やかに医療連携が取れる体制を今後も構築していただけたら幸いです。とても勉強になりました。有難うございました。
- ・内容も分かりやすく良かった。
- ・専門によって視点の違いが面白くて参考になりました。特に同じ心理職の方の考え方は勉強になりました。患者さんと向き合っていく上で、自分になかった視点からも関わりを深めていきたいです。
- ・専門家の皆様のご意見が大変参考になりました。情報収集よりも仲良くなるのが大切だと改めて感じました。一方で、一生懸命診断を付けようとする態度を見せることも大切だと。過度な問題解決思考に陥らないように注意することも。

5. 今後のセミナーについてのご要望がありましたらご記入ください。

- ・今回の様に診療の実際を知りたいです。第二弾を希望します。
- ・現在ある患者会との連携をどのようにしているのか教えてほしいです。
- ・ディスカッションの際、理学療法士の方が1名いらっしゃいましたが、もっと理学療法士・作業療法士の方が登壇されるとうれしいなと思います。
- ・慢性疼痛治療のネットワーク（九州）などについてもうかがいたいです。
- ・疼痛評価についてのセミナーもまたご検討いただければ幸いです。
- ・今回の症例検討会のように1つの症例に多職種の先生方がディスカッションする形で勉強したいです。
- ・引き続き 先生方 の discussion を お聞きしたいです。

- ・今回は近畿地区と九州地区との合同セミナーでした。最初の冒頭では近畿地区の取り組みの説明がありましたが、九州地区の取り組みも聞きたかったです。
- ・今回は、初診患者の診方でしたが、良くなってきているけどまだ痛みが残っている患者に対して、残された痛みに対して患者がどのように向き合うことを援助すればよいか、また最終的に医療者から巣立つためにどう援助すればよいかというところも勉強させていただければと思いました。
- ・この形式で続けていただきたいです。

6. 本セミナーをどこでお知りになりましたか。(複数回答可)

31件の回答

